

令和6年度 第3回 小平市地域公共交通会議 会議要録

1 日 時

令和7年3月17日（月）14時00分から15時03分まで

2 会 場

市役所5階 502会議室

3 出 席 者

小平市地域公共交通会議委員 10人

事務局（都市開発部 公共交通課） 2人

※傍聴者 2人

4 会議次第

(1) 開会

(2) 「バスとタクシーのひろば in 小平2025」について（協議）

(3) 令和6年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績について（2月末現在）（報告）

(4) 南西部地域デマンド型交通の乗車実績について（2月末現在）（報告）

(5) その他

・現状や取組状況等について（情報交換）

(6) 閉会

5 配布資料

- ・資料1 「バスとタクシーのひろば in 小平2025」の概要（案）
- ・資料2 令和6年度コミュニティバス・コミュニティタクシー乗車実績（2月末現在）
- ・資料3 令和6年度小平南西部地域デマンド型交通（乗合タクシー）の実証実験運行乗車実績（2月末現在）

6 会議内容

(1) 開会

都市開発部長の挨拶、出席委員数及び資料の確認

傍聴者の確認

(2) 「バスとタクシーのひろば in 小平2025」について

事務局から、資料1に基づき説明した後に協議

委員

昨年はブリヂストンのイノベーションギャラリー駐車場で開催したが、敷地の反対側で飲食エリアがあった。今回は敷地が広がるが、飲食などで賑わいを期待できるか？

事務局

昨年の会場となったブリヂストンイノベーションギャラリー駐車場では飲食ができないことになっている。昨年は隣で別のイベントが行われており、飲食エリアはそこが用意したもの。令和7年度の会場である新東京自動車教習所の敷地は広いが飲食はやらないこととする。

理由として、令和8年度はまたブリヂストンの敷地に戻る予定なので飲食はできない。年によって飲食の条件が変わると来場者も混乱する。また、イベントとしては午前11時から午後3時までの短い時間であり、飲食を実施する場合は開催時間も変更する必要があると考える。会場設営は当日に行っており、現状の体制として開始時間を早めることは設営時間などを考慮すると難しい。食事に関してはもう少し内部で検討しながら決めていきたい。令和7年度に関しては以上のことから食事の対応はしないこととする。

委員

自動車教習所の施設内には自動販売機があるので、飲み物は可能ではないか。

事務局

食事はできないが、暑くなることも考えられるため、「飲」は可能。

会長

何か新しいイベントの予定はあるか？

事務局

一昨年、新東京自動車教習所で開催したときの内容がお手元の青い色のチラシに載っている。それとの比較で、今回新たに行うものとしては、資料1の裏面に掲載したプログラムの予定をご覧いただきたい。プログラムスケジュール（案）の上から4番目、「おでかけ準備運動のススメ」を新しい取り組みとして行う予定。内容としては、免許返納を視野に入れて、市内には公共交通が多く走っているということを伝えながら、免許返納において、公共交通を使っていくことも一つの手段であるということを知っていただく。教習所内の建物が使えるので、ワークショップなどをやりながら一緒に考えていきたい。

そのほか、下から4番目の「バイクのデモンストレーション」。新東京自動車教習所ではバイクの免許も扱っているので、バイクの乗り方、動かし方などをやっていきたい。来場者が実際にバイクを動かすことができるかはまだ決まっていない。

以上の2つが新しい取り組みとなる。

会長

参加いただく各社としては、車両の提供やグッズ販売に関してはどうか？ 「バスとタクシーのひろば」がスタートした頃と比べると、人の手配など厳しくなっているのではないかと感触としていかがか？

委員

社内で検討しているが、車両の展示はなかなか難しいので、グッズ販売で協力していきたいということを聞いている。

委員

昨年は参加していない。今年は参加できるよう調整していきたい。

委員

1年で一番力を入れたいイベント。バスの車両展示、キャラクターの参加、グッズ販売についても今回のイベントに合わせて新しいグッズを検討中。

委員

例年どおり、車両を2台展示予定。

委員

人手不足ではあるが、例年通り協力していきたい。

会長

最近では人手不足でイベントは厳しい状況だと思うが、できる範囲で協力をお願いしたい。具体的な話は今後打ち合わせのときに詰めていきたい。

事務局

机上配付したが、4月23日の水曜日、午後2時から市役所6階の601会議室で事前の説明会を開催し、詳しい話をしていきたい。できれば、キャラクター、グッズ販売、車両の展示などをお願いできればと思う。今回は2023年度を思い出していただきたいが、展示車両の横にテントを設置してグッズ販売が可能となる。また、教習所の建物2階の部屋も借りることができる。机、イスを動かせる部屋や固定された教室もある。要望があれば各社で利用も可能。社に持ち帰って検討していただきたい。改めてメールで案内させていただくので、必要があれば4月11日までに連絡していただきたい。

会長

それでは、2025年度も各社イベントへの協力をお願いしたい。

(3) 令和6度コミュニティバス・コミュニティタクシーの乗車実績について（2月末現在）

事務局から、資料2に基づき説明

委員

前回の会議でも申し上げたが、10月にコミュニティバスのダイヤを改正した。減便となったが、乗務員の安全面に非常に寄与しており、営業所からも安心して運行できるという声が多くなっている。このようなことは数字上には表れないが、非常に感謝している。

委員

コミュニティタクシー大沼ルートについては昨年度の利用者が大きく減少した。これは暑さがあったことが要因と考えている。今年も暑い日が多かったが、利用数が戻ってきていることはありがたいこと。今後も引き続き安全運行に努め、事故の無いようやっていく。また、接客についても丁寧な対応を継続してやっていきたい。

会長

コミュニティタクシーでこれだけの利用実績を出しているところは全国的にみて他にない。鈴木町ルートでも1日平均75人。一般的には1日40人乗車すれば比較的成績が良い方ということになる。そう考えると小平市の利用度は非常に高いと言える。今後も安全運行でお願いしたい。

栄町ルートが485人減少しているが、何か理由はあるか？

事務局

運行事業者からは特段伺っていないが、利用頻度の高い利用者が何らかの理由で利用しなく

なったことが一つの原因と思われる。今後も運行事業者に動向を確認していく。

(4) 南西部地域デマンド型交通の乗車実績について（2月末現在）

事務局から、資料3に基づき説明

事務局

資料には記載していないが、3月の予約状況について、2週間ほど経過したが、1日10件ほど、多い時は16件の予約が入っている状況。

運行エリアを1つにしたことによる影響を把握するため、現在アンケートを実施している。2月中旬から3月20日までのおおむね1か月間の予定で実施中。アンケート用紙はタクシー車両の中のほか、南西部地域にある公民館、地域センターなどの公共施設に置いている。そのほか、南西部地域の考える会に参加している自治会への配布、また、南西部地域の自治会へは回覧という形でお願いしている。

エリア統合による影響としては、運行エリアが分かれていたことで利用ができなかった人が利用できるようになったことで利用が伸びている。要望が多かった鷹の台駅西側エリアから市役所近辺への移動は、エリア統合前は直接来ることができなかったが、エリアを統合したことにより、市の中心エリア、乗降場所では13番への利用が可能になった。また、東側の地域から西側地域への移動についても、上水本町側から鷹の台西エリアにある南台病院へ、通院の際に利用可能となった。エリアを超えた移動として具体的には、乗降場所10番の新小平駅を目的地とした西側地域からの利用、70番の上水新町地域センターから13番の中央公民館・図書館への移動、17番の津田公民館・図書館への継続的な利用が増えている。

エリア統合後は、平日毎日利用できるようになったことで、旧エリア内での利用も増えている。引き続き考える会と協力しながら、まずは周知を図って、そこから利用につなげていくことを考えている。

利用者の登録状況については、2月末現在で700人を超えており、1月末から100人以上増えている。考える会とも協力して、説明会終了後にアプリの登録作業の手伝いなどを行い、登録者数を増やしていきたい。

会長

今後の予定は？

事務局

令和7年5月30日までが実証実験運行の期間なので、それまではこのシステムによる運行を継続していく。現在運行エリア変更に関するアンケートを集めているので、アンケート結果や利用状況などを分析しながら、今後どのようにしていくかを検討していくことになる。

委員

南西部のエリア近辺でバス事業を行っているが、ここの地域は駅が多いので動向をつかみにくい。人口の割に利用が少ないエリアで、対応に苦慮しているエリアの一つ。ここの地域については自家用車の保有率が高いとか、駅が多いのでバスやタクシーに頼らずに駅に行けるとか、何か特徴があるか？

事務局

南西部地域の範囲は、一橋学園駅から西へ、鷹の台駅を超えて東大和市駅までのエリアで、さらに青梅街道の南側のエリアとなる。ここには青梅街道駅、一橋学園駅の西武多摩湖線が走

っている。それから西に行くと、多摩湖線と並行して西武国分寺線が走っていて、鷹の台駅、小川駅、恋ヶ窪駅があり、鉄道路線で地域が分断されている。また、府中街道でも東と西が分断され、さらに玉川上水で南北に分断されている。以前、エリア内で調査したところ、玉川上水より南に住んでいる人の生活圏は国分寺市になるという傾向が強い。また、一番西側の方は東大和市駅があるので、利用している病院も東大和病院であったり、生活圏も東大和市、あるいは立川市となっている。このようなことがアンケートで確認できる。昨年の10月にもデマンド交通に関するアンケート行っており、そこでは自動車の保有率は確認していないが、デマンド交通の実証実験を行っていることは知っているが乗らないという回答が多かった、「なぜ乗らないのか」という質問に対しては、「すでにある公共交通を利用している」あるいは、「自力で近くの駅まで行ける」などにより「今は使わなくても大丈夫」というような回答が多かった。ご指摘いただいているとおり、ここの地域は多くの路線バスが走っており、駅もあり、比較的ロケーションは良い。一方で道が狭隘で、一方通行なども多く、デマンド交通がなじまないという点もある。また、デマンド交通は事前の登録が必要だが、スマートフォンの使い勝手に慣れていない人も多く、思ったほど登録が進んでいない。登録しなければ予約ができないため、従来のようなコミュニティバスやコミュニティタクシーとは少し状況が違うのではないかと考えている。

委員

アンケートの回答期限が近いが、回収数は？

事務局

来週の20日まで行っており、回収が終わっていないため、現時点ではまだ集計していない。昨年10月に行ったアンケートでは237件の回答を得た。

委員

登録者数に対してどの程度の割合か？

事務局

前回10月にアンケートを実施した際は、登録者数が390人程度で、回答は237件。

委員

7割程度ということか。

会長

アンケートのタイトルが「運行エリア変更に関するアンケート」となっているが、平日いつでも利用できるようになったことが大きなインパクトだと思う。平日毎日運行となったことで利用しやすくなり、利用するようになったという人がどのくらいでできているか、といったことが見えてくると良いと思う。

事務局

会長から指摘いただいたとおり、エリア統合前は曜日によって利用できない日があったが、1月20日以降は曜日によらず利用できるようになった。エリア内にはクリニック、病院などに乗降場所を設けており、考える会からは、エリア変更によって曜日に関係なく利用できるようになるといった声をいただいているので、そのあたりもアンケートで確認していきたい。

会長

5月末までは引き続きこの形で運行していくということなので、アンケート結果の分析等を含めて、今後につなげていけるように進めていただきたい。

(5) その他

- ・現状や取組状況等について（情報交換）

(6) 閉会

会長

それでは本日予定していた議事は全て終了し、以上で令和6年度第3回小平市地域公共交通会議を閉会とする。

長時間にわたり活発なご議論をいただき、ありがとうございました。